

平成18年度日本農林漁業振興会会長賞 農林水産大臣賞

秋田県横手市十文字町

「中村集落」

【位置図】



【地区の概要】

事項	内容
地区の規模	集落
地区の性格	平地農業地域
農家率	68.9%
	(内訳) 総世帯数 83戸 農家数 57戸
販売農家数	50戸
	(内訳) 専業農家 15戸 Ⅰ兼農家 5戸 Ⅱ兼農家 30戸
主要作物 ()内産出額	花き (149百万円) 水稲 (83百万円) すいか (22百万円)
農用地の状況	耕地計 112ha (内訳) 田 105ha 畑 7ha
	耕地率 88.9% 農家一戸当たり農用地面積 2.0ha

【むらづくりの経緯・動機等】

- ・ 中村集落は、約350年前の江戸時代に開村され、森林地帯の開田や土壌改良の歴史の中で「共同と助け合いの精神」を培ってきた。昭和30年頃に共有地50haを共同開田し個人に配分。以降、水田単作農業が営まれてきた。
- ・ 米の生産調整が始まった昭和45年頃から、米以外の作物により地域農業の活路を見出そうと、花きやすいかの導入が始まった。この複合経営への取組を集落全体に波及させ、特に若い農家が農業生産に専念できるよう支援するため、昔からの集落の執行部的組織「村方議員会」を活用することとした。

【推進体制】

- ・ これまで青中年層が担ってきた祭礼等の集落活動を、比較的時間に余裕のある村方議員会や高齢者が中心となってとりしきるなど、集落が培ってきた「共同と助け合いの精神」のもと、生産と集落活動の役割を住民が分担する体制とし、集落全体が喜びと活力を持って生活できるように生産振興と地域づくりに取り組んでいる。
- ・ 村方議員会は10班ある地域班から1名ずつの選考委員を立て、任期2年の村方議員を11名選出し、議員の互選で「総代」を選出。
- ・ 村方議員会は、集落内の各種組織を束ねながら様々な活動に関する意見の調整や意志決定を行い、年9回の祭礼などの集落活動の企画立案のほか、老人クラブ、親子会、書道教室などの趣味の会等、集落内の組織に対し、必要に応じて活動費の助成を行っている。

【生産面における寄与状況】

- ・ 村方議員会を中心とした集落ぐるみの支援により、若い農家が農業生産に専念できる環境が整い、花きやすいかの導入が推進された。販売農家50戸のうち、花きやすいか栽培を主とする複合経営農家は21戸。花きは、きく、ゆり、シンビジウムなど、多種類を露地・施設で周年栽培し県内有数の産地に成長している。(JA管内の花き販売額5億円、うち集落の販売額1億5千万円)これらの花きは市場で高い評価を得ており、収益性の高い複合経営(13戸の農家が約1千万円以上の販売額)を確立している。
- ・ 昭和59年から花き栽培への「助け合いの精神」を反映した取組として、新規に花きを栽培する者にベテラン農家が栽培技術を3年間個別指導する技術の保証人制度「ブラザー制度」を創設。これにより、集落の主力である花きの栽培技術は持続的に向上が図られ、集落内の後継者が確実に育成されるなど、花き栽培の拡大に貢献するとともに、後継者づくりのモデルとして県内外に波及している。
- ・ 花きの栽培管理等において女性や高齢者が主要な役割を担っているほか、地域の女性労働力等を複数の農家により共同雇用するなど、それぞれの農繁期に合わせ調整しながら労働力を有効活用し、作業効率の向上により経営拡大に取り組む。また、「ゆい」による作業の相互扶助が日常的に行われている。

【生活・環境整備面における寄与状況】

- ・ 集落の産土神を祀る「山神神社」を主な会場に、開田時に様々な地域から入村した人々が持込んだ神様を仏式で供養する「十六善神様」や途絶えていた「どんと祭り」など、年9回の祭礼を継承、実施している。集落では祭礼を通じて大地の恵みや先祖に感謝する心を共有しながら集落の結束を高め、コミュニケーションを維持している。
- ・ 子供達に農作業のほか、奉仕活動や集落活動へ積極的に参加させることにより、「助け合いの精神」を養うなど、社会教育を通じて集落の将来を担う後継世代の育成に取り組んでいる。
- ・ 女性が中心となり産業祭でのフラワーアレンジの展示等による花き農家のPRや、陶芸・手芸講座などの高齢者の生きがい活動も展開されている。また、かつての生業の和紙づくりを復活させ、体験学習の一環として生徒が和紙の卒業証書を作成するなど、学校教育を通じて伝統文化を継承している。



主力品種のひとつ「シンビジウム」。様々な色のも
年間販売額1億1千万円のきく栽培。施設と露地の組み
合わせにより、5月から1月までの長期間の出荷体制を
確立している。

のを一つの箱に梱包する「ミックスボックス」の出
荷など販売面でも工夫を凝らす。



集落の産土神を祀る「山神神社」
(1713年(正徳3年)創建)。
山神神社を主会場に年9回の祭礼が行われている。



平成18年に復活した旧正月行事「どんと祭り」